

横浜市記者発表資料

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

令和8年4月27日
神奈川県総務部
都市整備局都心活性化推進部
にぎわいスポーツ文化局観光 MICE 振興部
教育委員会事務局教育政策統括部
公益社団法人 神奈川台場地域活性化推進協会

横浜開港のシンボル「神奈川台場」を伝えるデジタルコンテンツを制作 ～5月26日に公開セレモニーを開催します～



横浜市は、公益社団法人 神奈川台場地域活性化推進協会と連携し、横浜開港のシンボル「神奈川台場」の魅力や歴史的価値を身近に感じられるデジタルコンテンツを制作しました。

臨海部の埋め立てにより現代では直接見ることが難しくなった神奈川台場の魅力を、子どもたちをはじめ市民の皆様幅広く知っていただき、歴史教育や歴史観光のさらなる充実を図ります。

なお、公開に伴うセレモニーを横浜市庁舎1階アトリウムにて開催します。

■デジタルコンテンツについて

開港当時の神奈川台場を、学術的根拠に基づき高精細3DCG※として可視化し、「体験型VR」「AR（スマホ向けガイド）」「郷土学習映像」の3つのコンテンツを制作し、神奈川台場や開港の歴史を紹介しています。

※コンピューターを用いて3次元空間（3D）上で細部まで作成した立体物を、画像や映像として表現したもの。

5/26
公開

体験型VR

開港当時の神奈川台場を高精細3DCGで再現。その仮想空間を、コントローラーを操作して歩き回り、特定のポイントでは当時の設備の解説などを読むことができます。



※イベントや学校教材等で利用していきます。

5/26
公開

AR（スマホ向けガイド）

AR技術により、開港当時の風景で写真撮影ができる「ARフォトスポット」や、現地で神奈川台場の遺構をはじめ、開港の歴史をスマホで学べ、神奈川台場への理解や親しみを高めるガイドコンテンツです。



※市内臨海部4スポットでスマホ等からアクセスします。

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



郷土学習映像

勝海舟^{かつかいしゅう}と当時にタイムスリップした主人公のかけあいによる物語調で神奈川台場の概要や歴史的価値について、親近感をもって知ることのできる10分程度の映像です。



▲協会 HP はこちら

※公益社団法人 神奈川台場地域活性化推進協会のホームページから視聴できます。

ホームページURL <https://kanagawadaiba.com/>

■セレモニーについて

- 日時 令和8年5月26日(火) 11:30~13:30
 場所 横浜市庁舎1階アトリウム
 内容 主催者挨拶、横浜開港と神奈川台場に関する講演(横浜開港資料館 神谷 大介氏^{かみや だいすけ})、各デジタルコンテンツの紹介、実演、体験
 ※内容は変更になる場合があります。 ※体験は時間等の都合上、人数に限りがあります。
 主催者 横浜市、公益社団法人 神奈川台場地域活性化推進協会

■取材について(報道関係の皆様へ)

イベント当日の取材をご希望される方は、5月22日(金)正午までに神奈川県区政推進課(kg-kusei@city.yokohama.lg.jp)まで、「貴社名」、「報道媒体名」、「取材者氏名」、「連絡先電話番号」をご連絡ください。

【参考】神奈川台場とは

横浜港の防衛のため勝海舟^{かつかいしゅう}が設計し松山藩が築造した巨大な砲台場です。

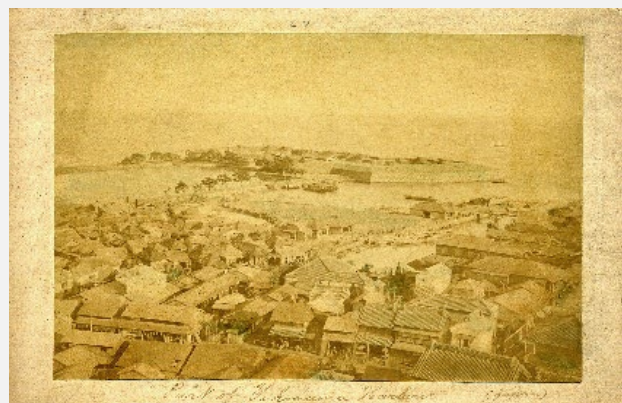
横浜開港の翌年1860年に、着工からわずか一年ほどで完成しました。

二本の取渡り道により海岸と接続され、まるで要塞の島のような形状をしており、台場の周囲は西洋城郭様式の石積みで築かれました。その総面積は約八千坪でした。

1899年に台場が廃止されその役割を終えるまで、一度も実戦に使用されることなく、専ら国際港としての外交儀礼上の祝砲や礼砲を発射するために利用され、近代横浜の誕生と発展に密接な関わりをもってきた施設でした。



▲消防局航空隊撮影、神奈川県区政推進課追記



▲「神奈川台場を望む」(山本博士氏寄託 横浜開港資料館保管)

お問合せ先

(セレモニーについて) 神奈川県区政推進課長 半浦 Tel 045-411-7020
 (デジタルコンテンツについて) 公益社団法人 神奈川台場地域活性化推進協会 理事 石田
 Mail info@kanagawadaiba.com



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷

